

令和8年度

川内南小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○学びが「面白い」と感じる授業づくり

校長

板東 順子

学力向上推進員

吉田 雅美

【各校の取組状況の把握について】

校内研修での授業構想や研究授業、授業研究会における報告・情報交換などの機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付き、与えられた課題にも真面目に取り組める児童が多い。 ●活用力が弱く文章中に漢字が使えなかったり、使い方が変わると書けなかったりする児童がいる。学習の習熟度に関きがあり、複雑な問いについて途中で諦めてしまう児童がいる。	・学習の過程を通して習得した知識が既習の知識と関連付けられ、他の学習の場面で活用することができる。 ・身につけた技能も、他の学習や生活の場面に活用することができる。 ・課題に根気強く取り組むことができる。	・学習した内容が他教科や行事等で活用できるよう、学習計画を工夫する。 ・つまづいたときに確認できるような掲示物やヒントカード等を工夫する。 ・朝のモジュールタイムを有効に活用する。 ・iPadの活用等、個に応じた指導の工夫をする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○目標が明確で、見通しの立つ課題をやり遂げようと努力する。 ●既習事項や経験をもとに考えたり、考えたことを言葉で説明したりする力に課題がある。	・根拠をもとにして、自分の考えを分かりやすく話したり、書いたりすることができる。 ・自分の考えを持つとともに、友達の考えを聞くことができる。	・自分の考えをもって学習に取り組めるよう、思考のための時間を確保する。 ・教科学習や特別活動における、話し合い活動の充実を図る。 ・ペアワーク、グループワークを取り入れるなど、学習形態を工夫し、自分の考えを表現できる場をつくる。 ・授業の中で、自分の考えをまとめて書く機会を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ほとんどの児童が落ち着いて学習に取り組む、学習や生活のきまりを守って学校生活を送ることができている。 ●自分から課題を見つけて取り組むことが苦手で、進んで学習する態度の定着に課題がある。家庭での読書時間が十分とれていない。	・学ぶ意欲を持ち、自ら課題を見つけ、自主的に学習に取り組む。 ・読書に親しむことができる。	・児童が疑問を感じ、その疑問が解消され、理解や発見の喜びに変わるような問いや問い返しを工夫する。 ・めあての確認、まとめ、振り返りの充実を図り、学びが自覚できるようにする。 ・教科や指導内容の特質に応じたノート指導を充実させる。 ・多様な学習形態や学習方法によって、一人一人が活躍できる場を作る。 ・週に1回程度図書室を利用し、読書に親しむ機会や時間を確保する。			